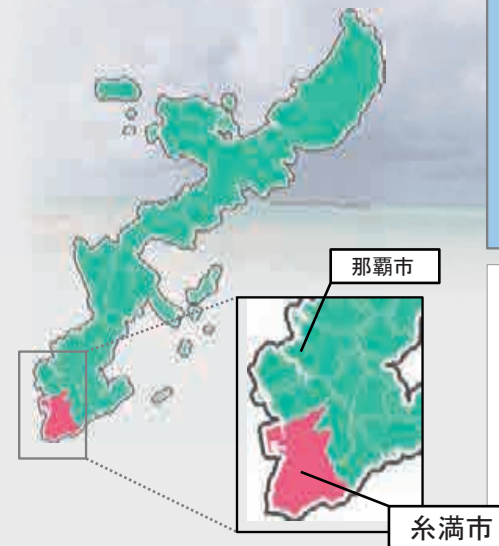


多面的機能支払交付金事業の取組 ～糸満市における教育機関との連携事例など～

糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会
糸満市 経済部 農村整備課

1. 糸満市の概要



(グーグル・マップより)

糸満市は、沖縄本島の最南端にあり、県都那覇市から南へ12キロメートルのところに位置し、東西7.5キロメートル、南北10.3キロメートルの範囲で総面積46.63平方キロメートルとなっている。

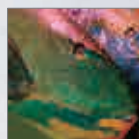
総面積 : 46.63 km²

世帯数 : 28,426 戸

人口 : 62,444 人

(2023年月末現在)

2. 糸満市の産業



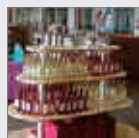
漁業

サンゴ礁の海の特性を活かした養殖を始めとして、カツオ・マグロ・ソデイカなどの沖合漁業が行われている。



農業

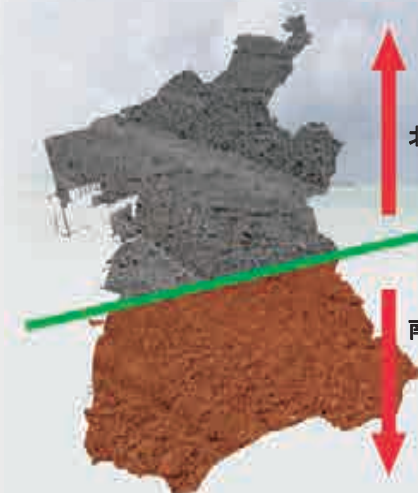
農産物は野菜、キビ、花卉、畜産を軸に葉タバコ、果樹などの生産を多様に展開。



商業

観光業が盛んで、化粧品や健康食品、調味料など市内で収穫された原材料による加工品も多い。

3. 糸満市の土壌の分布



ジャーガル

泥灰岩からなるジャーガルは重粘性で保水力に優れている。ジャーガル地域においては、さとうきび栽培が主流である。



島尻マージ

珊瑚石灰岩を母材とし、保水力に乏しい。島尻マージ地域ではビニールハウスで野菜・花き等が主体に栽培されている。

4. 糸満市の農業 | 基幹作物(サトウキビ)



サトウキビ



収穫前



刈取り後・運搬前

5. 糸満市の農業 | 主な作物



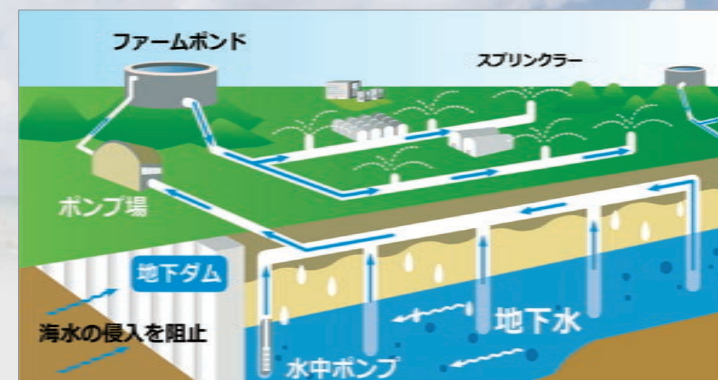
6. 糸満市の農業 | 拠点産地作物



	作付面積	出荷量
ニンジン	40 ha	835 t
レタス	71 ha	2,128 t
にがうり (ゴーヤー)	26 ha	291 t
パッションフルーツ	3.48 ha	51.55 t
きく・小ぎく	102.4 ha	45,250千本
マンゴー	11.59ha	100.26 t

糸満市 平成30年度

7. 国営地下ダムの整備



農業振興地域	3,819 ha
農用地区域	2,018 ha
(内 1,557 ha 土地改良計画面積)	

内訳	受益面積(ha)	整備率
整備済み	492.0	46.8%
将来計画	559.0	53.1%
合計	1,051.0	

令和4年5月現在

8. 本市の多面的機能支払交付金の取組

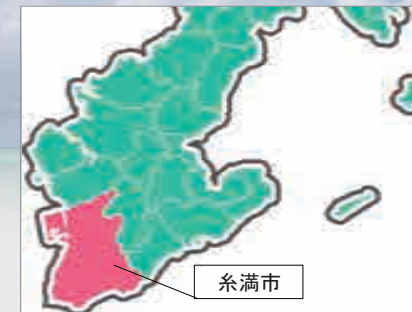
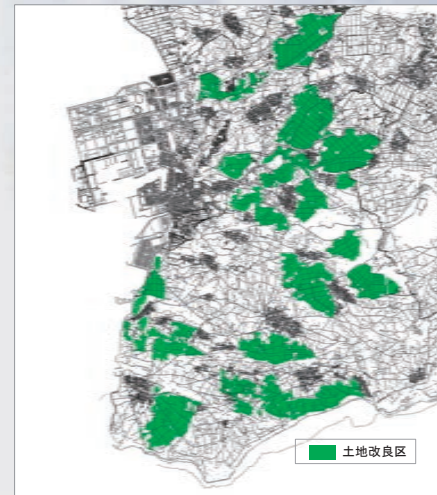
取組状況

	活動組織名	協定の対象となる位置
平成19年～ 23年度	座波地域資源保全の会 糸満市地域資源保全の会	糸満市座波土地改良区 糸満市17土地改良区地域
平成24年度～	糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会	糸満市21土地改良区地域

交付金額

	対象農用地面積	農地維持支払 単 価	資源向上支払(共同活動) 単 価	資源向上支払 (長寿命化) 単 価
畑	74,571a	1,380円/10a	720円/10a	310円/10a
計	74,571a	10,290,798円	5,369,112円	2,311,701円
合 計		17,971,611円		

9. 対象区域位置図



市内21土地改良区が対象区域となっている。
(面整備完了地区) 74,571a

10. 組織の構成・運営



11. 主な活動内容



点検活動



側溝・水路の土砂上げ



運営委員会
(計画策定)



沈砂池の土砂上げ



各施設の草刈り



各施設の補修等

12. 連携活動

大学等との連携

活動を通じて、地域を担うリーダー育成や幅広い地域住民の参加の促進、地域への貢献を図るため、平成25年度より琉球大学農学部等と連携した現地検討会・ワークショップの開催や地元小学校への出前授業などに長期的に取り組んでいる。

琉球大学 農学部

糸満市地域農地・水・環境保全組織

連携

大学の現地授業のフィールド

大学教授や学生が参加し
地元小学校への出前講座

関連機関との連携

土地改良区組合員や自治会、地元建設業や沖縄農業土木事業協会、沖縄県土地改良事業団体連合会、行政協力のもと、草刈り清掃等の作業を大人数で実施し、施設の維持管理や保全活動などに取り組んでいる。

関連団体

糸満市地域農地・水・環境保全組織

保全活動の
共同実施

施設の保全管理や景観保全
により
地域への貢献

これまでの連携活動実績

①琉球大学現地体験授業

・実施場所：米須地下ダム流域

・参加者：43名

・実施内容：琉球大学一般教養「沖縄の農業・農村と農地水環境」「食料・農村・環境概論」の受講学生を対象に、米須地下ダム流域の農業と水環境についての現地授業を実施。地下ダム流域内の営農状況や住民の生活環境、地下水について理解を深めた。



営農状況の説明



営農状況の説明



ファームポンド見学

これまでの連携活動実績

②琉球大学現地見学

・実施場所：米須地下ダム流域

・参加者：18、7名

・実施内容：琉球大学農学部「地域農業工学演習Ⅰ」で糸満市フィールドワークを選択した学生を対象に現地見学を実施。



地下ダム観測施設見学



湧水の説明



営農状況の説明

これまでの連携活動実績

③琉球大学現地授業

・実施場所：米須地下ダム流域

・参加者：58名

・実施内容：琉球大学農学部講義の一環として現地フィールドワークを実施。糸満市の営農と農地整備・水管理の現状、農地保全対策を学習し、地元農家や関係者との意見交換を通じ、生産性の向上と豊かな自然環境の保全・創造を課題とした現地検討会。

Aコース（農村農地環境概論） 米須地下ダム流域の農業と水環境

Bコース（農村農地整備学） 米須地下ダム流域の農村農地整備



Aコース



Bコース

これまでの連携活動実績

④小学校出前講座事前授業

- ・実施場所: 小学校
- ・参加者: 35・37名
- ・実施内容: 地元小学生を対象とした出前講座に係る事前授業を実施。物の水への溶け方や水質、出前講座にて使用する実験道具の使用方法を学習。



物質の水への溶け方の実験



パックテストを使った水質測定

これまでの連携活動実績

⑤小学校出前講座

- ・実施場所: 小学校及び米須地下ダム流域
- ・参加者: 51・52名
- ・実施内容: 地元小学校を対象に、出前講座を実施。農業農村と海辺・海域に係る環境学習として米須地下ダムと水利用、地下ダムに関連する海域の環境について学習。5グループに分かれ、湧水、地下ダム、海辺と異なる3地点で採水や生物の観察をし、各地点の水質調査や生物の生息状況、地下ダムができたことで糸満市の農業がどのように変化したのか学習したことを発表。



座学



高台から水の流れを説明

これまでの連携活動実績

⑤小学校出前講座



湧水での生物調査



地下ダム観測施設見学



大度海岸での生物調査



パックテストでの水質調査



新聞づくり



発表

これまでの連携活動実績

⑥小学校出前講座

- ・実施場所: 小学校及び土地改良区、ファーマーズマーケット
- ・参加者: 43名
- ・実施内容: 地元小学校を対象に出前講座を実施。米須地下ダム流域の農業と土について学習。4グループに分かれ、沖縄の土壌や営農状況、地域の農作物の流通について調査し、身近な農業について新聞にまとめたことを発表。



座学



さとうきび絞り体験(黒糖作り)



高台から水の流れを説明

これまでの連携活動実績

⑥小学校出前講座



作物調査(レタス)



作物調査(きゅうり)



ファーマーズマーケットの説明



土のpH調査



新聞づくり



発表

これまでの連携活動実績

⑦地域共同清掃活動

・実施場所: 真栄平地区、与座地区

・参加者: 121名、138名

・実施内容: 土地改良区・関係自治会・沖縄農業土木事業協会・沖縄県土地改良事業団体連合会・糸満市・沖縄本島南部土地改良区・糸満市土地改良区合同事務所が参加し、大人数での水路法面及び農道の草刈り等を実施。班に分かれ、それぞれ班長を配置し組織的に作業を行った。

農業土木事業協会は、農業土木の設計コンサルタント及び資材メーカーの業者で構成されている。共同活動に参加することで、地域に貢献することはもちろん、過去に整備された現場を見つめ直し、今後の設計に活かしていく。

これまでの連携活動実績

⑦地域共同清掃活動

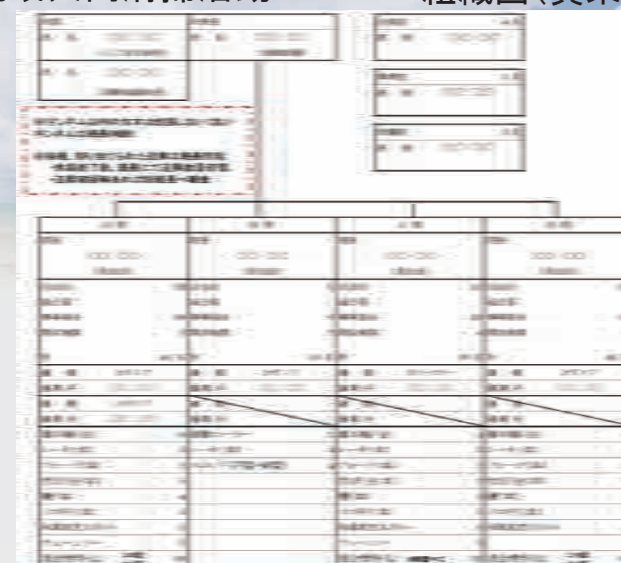
位置図(真栄平地区)



これまでの連携活動実績

⑦地域共同清掃活動

組織図(真栄平地区)



これまでの連携活動実績

⑦地域共同清掃活動



開会式



作業状況



作業状況



作業状況

これまでの連携活動実績

⑦地域共同清掃活動



作業状況



作業状況



閉会式・集合写真



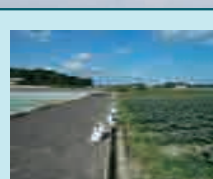
作業終了後

13. 他事業との連携

当組織では“糸満市赤土等流出防止対策地域協議会”と連携した活動も実施しています。



側溝浚渫・側溝補修を
多面的機能支払交付金にて実施



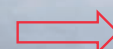
グリーンベルトの植付を赤土等流
出防止対策地域協議会にて実施



作業前

作業後

13. 他事業との連携



土砂の堆積なし



土の高さ

道路の高さ

14. 広報活動

現在、糸満市内全域の約2万8千世帯へ年2回程度、広報紙を配布し活動の普及啓発を行っている。さらに市内の祭り会場（年1回）や地域共同清掃活動等の際に、活動内容のパネル展示も行っている。またイベントや日常の生活や風景をSNSへ投稿もしており、広報活動を継続し当組織の活動認知を更に高めていきたい。



広報紙



パネル展示



SNS投稿

15. これまでの総括、今後の活動について

本活動には土地改良区や自治会だけではなく、沖縄農業土木事業協会や琉球大学など多くの関係機関の参加協力をいただき活動実施に至っている。

活動を年数を重ね継続することで地域住民の活動参加意欲や周知も増し、回を重ねるごとにスムーズに活動の調整や実施を行えている。

また、小学校出前講座においても水質検査や作物調査などを通し、住んでいる地域の資源や特色、環境について考える場となっている。

今後も、多面的機能支払交付金事業を通じて、それぞれの地域の実情に応じた創意工夫された活動が求められ、これまでよりも活動の幅が広がっていくものと考えている。

糸満市地域では大学や地元の小学校など教育機関と連携し、地域の実情や要望に応じた形で出前講座などの活動を継続し、子供たちをはじめとした若い世代を巻き込んだ活動に取り組んでいきたい。